

夏休み作品募集一覧【絵画・書写・作文・読書感想文・理科作品】

Let's challenge!

特別な場合を除き、校内締め切りは8月26日（木）です。

※必ず、氏名・作品名を裏面に記入して出してください。

No.	コンクール名	主な内容 等	備考
1	MOA美術館児童作品展 絵画（版画も含む）	テーマ：自由 ①楽しさや美しさなどが感じられる作品 ②自由な創意・工夫をこらした作品 ③子どもらしく個性的で、明るく伸び伸びしている作品 ④自然や人を思う心などのよさが表れている作品 * 1校10点以内の出展数 となります。校内選考あり	四つ切りまたはB3サイズの画用紙 （厚紙は不可） 版画も同じ * 作品が小さい場合は、四つ切りの台紙に貼る。 水彩絵の具・パステル・クレヨン・カラーペン * 鉛筆・色鉛筆のみは不可。 ※貼り絵や工作的な作品は不可。 ※ 今年度は、展示・授賞式ともに取りやめです。
2	八木山動物公園写生大会	大会期間中（7/21～8/24）に、八木山動物公園の展示動物を写生した絵画。 ※「どこでもパスポート」を持って行けば、子供は入園無料。	四つ切り画用紙（貼り絵や立体的な作品は不可） * 写生大会期間中、入園券売り場で無料配布。
3	防災ポスターコンクール	テーマ：地震、津波、台風、豪雨、火山噴火、豪雪など自然災害を対象とした「防災」に関するもの。 ①これらを連想させる標語を入れた個人の作品で未発表のもの。 ②「幼児・小学1～2年生の部」「小学3～5年生の部」は標語のない絵画だけでも可とします。	用紙はA3以上A2以下の画用紙またはケント紙。 画材・色数は自由。 パソコン等を使用した作品も可。 ※ 作品は返却されません。
4	JA共済 宮城県小・中学校書道コンクール	書写<毛筆の部>（半紙） 1年「えみ」 2年「みらい」 3年「まなざし」 4年「成長」 5年「希望の道」 6年「四季の花」 <条幅の部> 1年「ひかり」 2年「きずな」 3年「助けあい」 4年「明るい声」 5年「自然の美」 6年「価値の創造」 各学年、一部門につき一学年2点まで応募 * 校内選考あり	書体は楷書、縦書き 左端に「 学年 」「 氏名 」（名字も書きます） <例> 三年 向山 太郎 * 低学年に限り、氏名はひらがなでもよい。 （但し、数字は漢数字） 各学年、一部門につき一学年2点まで応募 * 校内選考あり
5	MOA美術館児童作品展 書写	書写<毛筆の部>（半紙） 課題は自由（文字数も自由） * 1校10点以内の出展数 となります。校内選考あり	左端に「 学年 」「 氏名 」 <例> 三年 向山 太郎

6	<p>仙台市児童・生徒理科作品展</p>	<p>【作品種目】 <研究の部> 観察・実験・調査をととした自然科学対象の研究 <標本の部> 動物・生物, 岩石・鉱物・化石の標本 <科学工作の部> 科学的な原理や機構を使った工作</p> <p>※出品上の注意 <研究の部> ○観察・実験・調査をととした研究の詳細をレポート用紙やノート類にまとめる。(A4判が望ましい) ○模造紙半分大・縦使い(縦78cm×横55cm)の紙1枚に, 横書きで『研究の概要』をまとめる。 概ね下のような内容にする。 1 動機 2 ねらい 3 方法 4 結果(表やグラフを使って) 5 考察 6 感想 7 参考文献 <標本の部> ○破損や紛失を防ぐため, 審査時に開閉ができるカバーが付いた標本箱に収納する。 ○『標本リスト』, 『製作レポート』を添付する。 ○『製作レポート』は, 分かったことや気付いたこと, 採集記録や写真等をレポート用紙やノート類にまとめたもの。(A4判が望ましい) <科学工作の部> ○A4判以下のレポート用紙で操作に関する説明書を作成する。 ○『製作レポート』を添付する。 ○破損等を防ぐ, 審査時に開閉ができるカバーやケースをつける。 ○動作するものについては, 容易に壊れないような工夫をする。</p>	<p>【出展数】 <研究の部> 2点 <標本の部> 1点 <科学工作の部> 1点</p> <p>※校内審査を行います。</p> <p>○危険な手法, 危険な薬品等を用いた実験や, 硬貨の変形等の法や条例に抵触する研究は受け付けません。</p> <p>○既存のキット等を組み立てただけの作品や, プログラミングのみの作品は受け付けません。</p> <p>○出展が決まったお子さんには, 作品のレポートなど書き直しをお願いすることがあるかもしれません。あらかじめご了承ください。</p> <p>★仙台市科学館のホームページにある情報を参考にしてください。</p> <p style="text-align: right;">※校内締め切りは8月27日(金)</p>
7	<p>仙台市小学校読書感想文コンクール</p>	<p>1 自由読書(自由に選んだ図書) *教科書や雑誌などは入りません。 2 課題図書</p>	<p>原稿用紙縦書き <1・2年> 400字詰原稿用紙2枚以内 <3～6年> 400字詰原稿用紙3枚以内 *「学校名」「学年」「氏名」は枠の外に書く。</p>
8	<p>仙台市小学校教育研究会 国語研究部会 作文宮城</p>	<p>題材は自由 生活文, 日記文, 感想文, 記録文・観察文, 報告文, 手紙文, 詩, シナリオ, 童話(創作文), 意見文, その他</p>	<p>400字詰原稿用紙(B4版) 10枚以内 *1年生に限って240字詰原稿用紙(B4版)でもよい。 *「学校名(仙台市立向山小学校)」「学年」「氏名」を 文題の次に書く。 *1000字程度の短い作文もふるってご応募ください。 ※作品の返却はありません。</p>

9	仙台市・社会福祉法人仙台市障害者福祉協会 「心の輪を広げる体験作文」	心の輪を広げる体験作文 テーマ 出会い、ふれあい、心の輪 ～障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう～ <例> 障害のある人とない人とのふれあい体験 障害のある人とない人との心のふれあいを通じて学んだことや感じたこと 社会に訴えたいこと など	原稿用紙縦書き 400字詰原稿用紙 2枚～4枚 * 作品の返却はありません。 * 入賞作品は、作品集・ポスター等啓発広報に使用することがあります。
10	「こんな部屋いいな」 絵画コンテスト	テーマ：「こんな部屋いいな」 こんな部屋いいなという夢を素直な発想と完成で描く インテリアを通して、子供たちが夢や希望、喜びを体験する場をつくる	八つ切り 白画用紙（横描きのみ） * 必ず3色以上の色をつけること * クレヨン、マーカー、水彩絵の具等 * シールや折り紙など紙の貼り付け、リボンやラメなどによる 装飾は不可
11	「川をきれいにする児童図画・ポスター」	○川をきれいにしている（するための）川の景色や日常生活 ○川をきれいにするための心掛けや願い	四つ切り画用紙 * 色材料 自由（ただし、油絵具類は除く） * 作品に紙以外のものを貼り付けたり、画用紙をはみ出して 貼り付けたりしないこと
12	みやぎ児童画展	テーマ：自由（素直で心に響いてくるような夢と希望あふれる作品） 絵画、版画、デザイン	四つ切り画用紙 * 水彩絵の具、アクリル絵の具、クレヨン、色鉛筆、ボールペン など * 油絵不可（紙以外の画材を貼付した作品は選考の対象外とす 11/18～藤崎本館にて特別賞・特選・入選を集めた展覧会を開催。 * 作品返却を希望する場合有料
13	八木山フェスタポスターコンクール	テーマ：自分が思う八木山のイメージ （但し、八木山ペニーランド・八木山動物公園・東北工業大学・東北放送のいずれかを必ず描くこと 複数でも可） 文字入れ：ポスターには2つの事を必ず入れること ①「秋の八木山フェスタ」 ②「開催日11月3日（水）」	四つ切り画用紙 色画用紙も可 * 絵の具、クレヨン、色鉛筆、マジック、ポスターカラーなど 画用紙の裏面に、名前、学校名、学年組、地区を記入 ※応募作品は無記名で近隣施設や応募者の所属する子供会の地区 で掲示する予定 ※入賞作品は学校名・学年・名前を明記し、八木山市民センター及び 各共催団体に掲示

- その他の絵画・工作の作品募集につきましては、向山小学校ホームページ「市教育委員会作品募集・イベント案内」より、「作品募集」を御覧のうえ、募集要項・応募票等を御確認いただき、各御家庭でご応募ください。
- この案内は、向山小ホームページに夏休み作品募集一覧として掲載します。

【参考】豊かで正しい作文を書くポイント

◎ 身の回りから積極的に取材し、文題を工夫する

- ・あつバトンが落ちた ・どきどきした委員会 ・見つけた縄文土器 ・きょうふの暗夜航路 ・雨の中の炊飯活動 ・忘れられない先生 ・1枚の写真 ・優勝はかせ葉
- ・ぼくの初仕事 ・ヨーヨーの得意技 ・父の足音 ・ぼくのファミコンごうりやく ・東京一人旅 ・水不足があたえたもの ・カブトガニに会えた夏 ・本当のやさしさ ・地球の宝物 など

◎ 短い作文を書くポイント

何を書きたいのか、対象をじっくり見つけ中心点を絞り込む。一度書いた作文をもとに、無駄な叙述を省いたり、より効果的な言葉を選んだりして短い作文にまとめる。

◎ 原稿用紙の使い方を正しくする

- ・句読点、かっこ、かぎかっこは一字分にする。 ・書き出しや段落のかわり目では、一字分下げる。ただし、「会話文」で始まる場合は下げない。
- ・「会話文」は、行をかえて書く。 ・その他、書き方の教科書（3年～5年）を参考にする。

◎ 表記上こんなことに気を付ける

- ・擬声語（音や鳴き声など）は片仮名、擬態語（様子を表す）は平仮名で表記する。（例）ドボン ワンワン きらきら ぼかぼか
- ・平仮名の長音の表記に気を付ける。（例） ○つうん ×つーん（例） ○そうかなあ ×そーかなー（例） ○はあい ×はーい
- ・常体と敬体が混同しないようにする。
- ・一つの作文中、使用した漢字は最後までその漢字を使う。

◎ 読点の主なめやす

- ・文の途中に接続助詞があるとき（例）暑かったので、窓を開けた。
- ・文のはじめに接続詞や感動詞、呼びかけ、応答などの言葉があるとき（例）さて、問題です。
- ・会話文を「と」で受けて、直接述語に続く時と続かないときの違い（例）「そうそう。なあ、加助。」と言いました。 「そうそう。なあ、加助。」と、兵十が言いました。